



みまっぱ子育て通信 第5号

2022年10月17日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>

1歳児の親子ひろば「めばえ」

今年度2回目の親子ひろば「めばえ」です。新型コロナウイルスの影響により、1歳児の子ども達と保護者の方にゆったりと過ごして頂く少人数制のひろばです。感染予防対策を行いながら、地域の子育て広場としての役割を担えるよう、今後も開催を計画しております。どなたでも参加できますので、また是非遊びにいらしてください。

「めばえ」の流れ

開催日時:10月17日(月)10:00~11:00
受付は9:30~

開催場所:美作大学 多目的ホール(本館2F)

対象:1歳児とその保護者 10組

内容:『木のおもちゃ、手作り玩具、ダンボールハウスで学生と一緒に遊びながら、子どものこと自分のことについて話をしませんか?』

10:00~10:15 自己紹介・手遊び
10:15~10:45 木のおもちゃ等で遊ぼう
10:45~11:00 学生によるお楽しみ

その他:コロナウイルス感染対策を行っています。

美作大学児童学科の教員2名が常駐し、子ども達の主体的な遊びを見守り、子どもの発達に関する相談に応じます。本学学生が、ボランティアで参加します。

次回「めばえ」開催予定月

2022年12月

場所:美作大学本館多目的ホール
津山市社会福祉協議会様からのメール配信と
本学HPにて日時をお知らせいたします。

はぐくみ

*このコーナーでは大学の教員が、保育の専門的視点から子育てに関するメッセージをお届けします。

私は長らくニホンザルの集団を研究対象にしていました。ニホンザルの研究を始めるためにまず必要なのは、彼らの顔と名前を覚えることでした。サルの顔を覚えるというと、驚く方が多くいますが、サルにも個性があり、顔や特性も一頭一頭異なっています。それを、先輩に聞いたり、自分で特徴をメモしたりしながら覚えるのです。顔と名前を覚えるといろいろなことが見えてきます。例えば、ニホンザルの集団の特徴に「末子優位の原則」というものがあります。これは、ニホンザルの姉妹がいた場合、妹のほうが順位が高くなるというものです。

ニホンザルの母親は、最も下の子(末子)を手厚く保護します。姉が妹に乱暴なことをすると、すぐにその姉をしかりつけます(ヒトのようにではありませんが)。その経験を積み重ねると、次第に母親の威を借りた妹が姉よりも順位が高くなるのです。この傾向は、年をとっても変わることはありません。

ヒトの家族も似たようなところがあるのかもしれない。

美作大学生活科学部児童学科 教授 安田 純



中央のサルは、右のサルの母親、左のサルの祖母。三代がそれぞれの赤ちゃんを抱えています。

2022年7月21日開催
みまさか子育てカレッジ
1歳児の親子広場「めばえ」

2022年10月17日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>



自由あそびの時間は、1歳児の子ども達が自発的・意欲的に関わられるような発達に応じた学生の手作り玩具や木の玩具、遊具などを用意しました。それぞれが行動範囲を広げ様々な玩具に見て触れて、夢中になって遊ぶ姿が見られました。製作コーナーでは、学生と一緒に身近な素材を使った風鈴づくりを経験し、シールで飾りつけをして鈴の響きに気付いていました。



最後は、教員によるオルフ楽器の木琴の音とわらべうたで集まり、学生の手遊びやペープサートに親しんだり、バナナ体操の音楽やリズムに合わせて、一緒に体を動かしたり歌ったりしました。この広場では子育てに関する心配や不安に対して、教員が、個別相談に応じております。

*カール・オルフ(1895-1982)20世紀ドイツの作曲家「子どものための音楽」などをつかった作曲家